ヤマノイモ（イモ類の登録農薬も使用できる）

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
葉渋病	生育期	・発生が認められたら次の薬剤のいずれかを散布する。 ジマンダイセン水和剤 400～600倍 ストロビーフロアブル☆ ヤマノイモ：2000～3000倍 ムカゴ： 2000倍 ダコニール1000(FL)☆ 1000倍 トップジンM水和剤☆ 800倍 Ｚボルドー(水) 500倍	６月下旬頃から発生する。
炭疽病	生育期	・発生が認められたら次の薬剤のいずれかを散布する。 ジマンダイセン水和剤 400～600倍 ダコニール1000(FL)☆ 1000倍 トップジンM水和剤☆ 800倍 Ｚボルドー(水) 500倍	７月中旬より発生する。
褐色腐敗病・青かび病	植付前	**1. 連作をさける。** **2. 健全な種いもを使用する。** 3. 種いもを次の薬剤で処理する。 ベンレートＴ水和剤20☆ 100～200倍 10分間浸漬 4. 褐色腐敗病に対しては土壌消毒を行う＃(土壌消毒の項参照)。	＃青かび病を対象とした土壌消毒剤は登録されていない。
アブラムシ類	発生期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アディオン乳剤 2000～3000倍 モスピラン顆粒水溶剤☆ 4000倍	
ハダニ類(カンザワハダニ)	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 コテツフロアブル☆＃ 2000倍 コロマイト乳剤☆ 1000倍 マイトコーネフロアブル 1000倍	＃カンザワハダニでの登録
ネコブセンチュウ	植付前	**1. 種いもは健全なものを選ぶ。** 2. 作付予定地で、前作物に寄生のあったところでは土壌消毒を行う(土壌消毒の項参照)。 3. 次の薬剤を全面土壌混和する。 ネマトリンエース粒剤☆ 20kg/10ａ	

☆:ヤマノイモ(ムカゴ)にも登録のある農薬。ヤマノイモを収穫する場合とは使用時期等が異なっている場合があるので注意する。